

# 最新の歯科技工技術に関する講習会 I

## 都技 生涯 研修

### [重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的からハンズオンセミナーは密にならないよう少人数制とさせていただきますが、オンラインによるセミナー受講も設けました。ご希望の受講方法を選択の上、該当する申込期間内に申請をお願い致します。
2. また、変更、追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたので、受講希望者は是非とも登録をお願い致します。
3. **本研修会は東京都保健局よりの委託事業となっております。**  
**つきましては受講対象者は以下の方に限ります。**
  - ①一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員ならびに賛助会員
  - ②学生ならびに卒後2年度以内の方（\*但し、都技メイト会員に自動入会となります。会費無料）
  - ③東京都内在住在勤者

### [申込期間]

- 都技会員ならびに賛助会員（上記①番）：7月21日 AM9時から
  - 学生、卒後2年度以内、都内在住在勤者（上記②③番）：7月25日 AM9時から
- \*申込開始日時前の申請は無効とさせていただきます。  
\*定員になり次第締切させていただきます。

### [申込方法]

- ① 右記QRコードから申込申請をお願いします。  
\*QRコードが読み込めない方は都技ホームページから、もしくは下記アドレスまでご一報ください。  
メールアドレス：[sya-togi@muf.biglobe.ne.jp](mailto:sya-togi@muf.biglobe.ne.jp)
- ② 受講確定者には後日ZOOMオンラインセミナー招待URLを送付します。  
\*オンラインセミナー参加者はパソコン（スピーカー付）、スマホ、タブレットのいずれかの端末機をご用意をください。  
\*現状においてオンラインによる催事は、日技生涯研修対象外のため単位取得になりません。予めご了承ください。



申込申請用QR

### [LINE公式アカウント登録のお願い]

コロナウイルス感染拡大状況により緊急なお知らせ等が発生する場合がございます。つきましてはスムーズな連絡ができるよう都技LINE公式アカウントの登録をお願い致します。



都技LINE公式  
アカウントQR

### [お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
e-mail：[sya-togi@muf.biglobe.ne.jp](mailto:sya-togi@muf.biglobe.ne.jp)

令和2年度

## 最新の歯科技工技術に関する講習会 I

ハンズオンセミナー

オンラインセミナー

### 人体を可視化する 「確かな手術のサポート」

～ダイコムデータSTLファイル変換ソフトの実技トレーニング～

土井 章男 先生 (岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授 兼 (株)アイプランツ・システムズ代表)

### 口腔内スキャナー(光学式印象)による スキャンデータ(STLファイル)の 可視化について

～データ受信から完成までの流れ～

板谷 良平 先生 (株)ケイテックス取締役副社長)



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

令和2年 8月2日 日

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

### ハンズオンセミナー

定員 8名  
\*ノートパソコン持参できる方は数名参加可

参加費 無料

場所 早稲田CADトレーニング&サポートセンター  
新宿区高田馬場3-16-17

### オンラインセミナー(聴講)

定員 60名

参加費 無料



●JR・西武新宿線・東京メトロ東西線【高田馬場】駅から徒歩10分  
※駐車場がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

一般社団法人 東京都歯科技工士会

1895年、ドイツ物理学者 ヴィルヘルム・レントゲンのX線の発見により解剖しなければ見ることのできなかった人体内部がX線写真によって見えるようになりました。現在は、超音波断層画像、核磁気共鳴画像法 (MRI)、X線CT (CT)、血管造影などさまざまな方法が開発され、人体の内部は完全に見えるようになったかのようになります。しかし、どれだけ正確に把握できているかと考えると、現状ではまだ不完全です。その最大の理由は、MRIやCTが2次元データで断層画像 (スライスデータ) の集まりのためです。よって、これらデータを3次元的に見えるソフトが必要となります。今回は、歯科領域でも応用可能なソフトウェア (Volume Extractor) を紹介します。Volume Extractorは、CTのDICOM (ダイコム) データからSTLファイルに変換することで3Dプリンターで顎模型製作が可能となり、日本人に多いアーチファクト (\*口腔内の金属等に反応し、ノイズ (光のような乱反射) の発生をいう) の軽減、一部削除もできるため、矯正治療、インプラント診療における術前審査診断用顎模型製作などにも有効的です。人体の可視化や実物サイズの模型作製により、「確かな手術サポート」の臨床事例を挙げながら、Volume Extractorの機能について、実際に操作 (実技) しながら解説します。

また、後半では、口腔内スキャナー (光学式印象) にてチェアサイドから送信されたスキャンデータ (STLファイル) の可視化について、データ受信から完成までの流れを通して解説して頂きます。



▲矯正用アンカー術前診断顎模型



▲自牙移植における歯根形状の確認



▲上顎インプラント埋入における術前診断顎模型

## 人体を可視化する「確かな手術のサポート」 ～ダイコムデータ STLファイル変換ソフトの実技トレーニング～

講師

**土井 章男**

[ とい あきお ]



- 岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授
- (株)アイプランツ・システムズ代表

略歴

昭和57年 神戸大学大学院工学研究科修士  
同年 日本アイビーエム(株)東京基礎研究所に入社  
東京基礎研究所では、主にコンピュータグラフィックスと可視化の研究に従事する  
平成 7年 岩手大学工学部情報工学科講師  
平成11年 岩手県立大学ソフトウェア情報学部教授。現在に至る

平成19年には、科学技術振興機構の「大学発ベンチャー創出推進制度」により、(株)アイプランツ・システムズを設立・運営し、医療用ソフトウェアの研究開発と販売を行っている。製品群には、3次元画像から3Dプリンタ用の造形ファイルを簡単に作成できるVolume Extractor 3.0があり、平成27年4月には、りそな中小企業振興財団と(株)日刊工業新聞社が共催する「第27回中小企業優秀新技術・新製品賞」において、ソフトウェア部門の奨励賞を受賞した。

## 口腔内スキャナー (光学式印象) による スキャンデータ (STLファイル) の可視化について ～データ受信から完成までの流れ～

講師

**板谷 良平**

[ いたや りょうへい ]



- (株)ケイテックス取締役副社長

略歴

1997年 3月 九州医療専門学校歯科技工士科卒業  
2000年 3月 早稲田歯科技工トレーニングセンター九州校卒業  
2001年 シカゴ、KikutakeRobbins Den Lab入社  
2011年 5月 ナレッジデントワークス設立  
2019年12月 (株)ケイテックス取締役就任